

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

被告人本人の上告趣意（後記）は、結局事実誤認の主張に帰し刑訴応急措置法一  
三条二項により上告適法の理由にならない。

よつて刑訴施行法二条、旧刑訴四四六条により主文のとおり判決する。

この判決は、裁判官全員一致の意見である。

検察官田中巳代治関与

昭和二六年六月二六日

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官 井 上 登

裁判官 島 保

裁判官 河 村 又 介